

嘘の薬が命を救う？

仙台第三高等学校 D6班

はじめに

プラシーボ効果とは？

⇒自分の思い込みが身体に良い影響を及ぼすことを示している。

日本では、「偽薬効果」とも呼ばれていて、薬効のない成分である薬を、本物の薬として信じ込ませて服用させることにより、本人の症状が回復傾向になったり、治ったりすることを言う。

まとめ

偽薬は役に立つ

- ・治療費を削減できる
→患者、国の負担を減らす
- ・副作用がない
→苦痛軽減、認知症の人にも役立つ

仮説・考察

プラシーボ効果を医療現場で偽薬として利用できるのではないかという仮説を立てた。しかし、以下のような問題点があるため、解決策を考えた。



問題点

解決策

需要が少ない

プラシーボ効果の有用性を医療（介護）現場に浸透させる。

インフォームドコンセント
医師は患者に十分な説明をしなければいけない

規定を作る
例）患者の家族に許可を取ればOK

薬の成分表示
お薬手帳や薬の袋に嘘は書けない
→患者に気づかれる可能性がある

少量だけ本物の薬をまぜる

効果の個人差
騙されやすい人とそうでない人がいる

できるだけ騙されやすい状況を作る

薬の知名度上昇による効果の低下
患者が偽薬と知っていれば意味がない

メディアで取り上げない

参考文献

星薬科大学哲学研究室訪問時の質問回答資料
プラシーボ効果とは？実験7つと事例5つで活用法を徹底解説
<https://shin12.info/?p=2829>